

伝えたい 残したい

# 20世紀 のうしく

問 文化芸術課(中央生涯学習センター内) ☎871-2301

## 農作業の様子

昭和15～16年頃撮影



この写真は、昭和15～16年頃の奥野村で農作業をする人々を撮影したものです。右端の人の前にある道具は、マンガという農具で、稲作の代掻きの際に使用されてきたものです。代掻きとは、田植えの前に田んぼに水を入れ、土塊を砕き、表面を平らにする作業のことで、マンガは表面を平らにするために、先端の六角棒の部分を押し転がして使用しまし

た。現在では、トラクターを使用して行います。撮影当時、代掻きは5月後半～6月初め頃の作業でしたが、兼業農家の増えた現在は、ゴールデンウィークに田植えをする場合が多く、代掻きも当時に比べて約1カ月早く行われています。



マンガ

『牛久市史 民俗』より



明治・大正・昭和の

「昔のうしく」の写真を募集しています。

## 里山の樹木

問 都市計画課

☎内線2524

第5回

### ウツギ

開花期の花  
新地町畑の境界  
平成27年5月18日撮影



開花期の樹形 新地町畑の境界  
平成23年6月6日撮影

アジサイ科の落葉広葉樹。2～4m程の低木。北海道南部～九州に分布し、牛久では林縁等に自生するほか刈込に強い。ため、生垣や畑の境界樹に使われています。幹が中空で折れやすく、よく枝分れます。葉は卵形で4～10cm、今年枝に對生し、表面は星状毛放射状にのびた毛がありざらつき、裏面は淡

## 文芸さろん | 臯月 |

ウグイスや若葉マークの初音かな  
月明かり街並梅の夜半景色  
春をよぶしだれ桜に色づくし  
春爛漫外へ出掛け爽やかに  
ランドセル夢と希望も詰め込んで  
バスを待つ野草の花に春を見る  
小春日ののどけくそぞぐ庭すみに  
優しく咲けりオオイヌノフグリ  
優しく孫につれられ細い道  
菜の花つみて帰る夕陽に

あおたん  
岡村さん  
枝さん  
月田さん  
山崎さん  
雅子  
井上さん  
木村さん

【作品募集】イラストや俳句、川柳、短歌など

【あて先】〒300-1292牛久市中央3-15-1

「広報うしく文芸さろん」係

FAX: 873-2512

E-mail: shimin@city.ushiku.ibaraki.jp

【記載事項】作品、氏名、電話番号、匿名希望の方はその旨(ペンネームもOK)

【資料提供】NPO法人うしく里山の会 樹木リサーチ(文章: 本田寛、写真: 樹形) 戸塚昌宏(花渡辺奏)

「牛久の巨樹」発売中 ※お求めは都市計画課まで(1,200円)